

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

## ～\*～\*～ 会員サービスのご案内 ～\*～\*～

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします(本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-menu.html> 参照)。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門(E-mail:mem@ipsj.or.jp)までお寄せください。

### ホテル (10～53%割引)

サンルートホテルチェーン、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、阪急阪神第一ホテルグループ、JR 東日本ホテルチェーン、グランビスタホテル&リゾート、都ホテルズ&リゾート、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

### レンタカー (10～51%割引)

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

### パック旅行 (3～7%割引)

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

### その他(書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス)

UC 丸善アカデミックカード、パーシティウェブ(教育機関所属の方はアカデミック価格で)、デスカット

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「eラーニングの広がり」とつきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ eラーニングの普及の問題は難しいと思いました。高等教育の世界的な質との関係、日本語で作成されたコンテンツでは翻訳の手間以上の内容を求められるなど、eラーニングの品質への要求はかなり高く、内容の制作に専念できる簡便なツールの作成は重要だと思いました。また、利用者が自宅やパソコンルーム以外で受講できるモバイル環境への対応など、利用者の利便性を考慮した軽いシステムが欲しいと思いました。(匿名希望)

■ 民間中小企業に勤める者としては、新人をどうやって育成していくのかは大きな課題で、育つ育たないはたまたまた仕事の運任せに近いものがあった。eラーニングには興味があるものの踏み出せなかったが、特集をきっかけに規模はだいぶ違うものの少しずつでもコンテンツを作り、また他の同業企業とも連携できないだろうかと思った。ただ、Movable TypeにWikiにXOOPSにMoodleにと、いろいろ似たようなコンテンツが分散したり重複してしまう傾向を何とかできないものか。(匿名希望)

■ OCWで大学の講義の教材が広がり、それとともに教員はよりよい教材を作成するために教材作成にこれまで以上にコスト(労力)がかかるのではないかと。それによって、困っている教員もいるのではないかと。(少し触れられている記事もあるが)そのあたりの現状はどうなのだろう。(匿名希望)

■ 以前にMITのOCW開設のニュースを新聞で読んだことがありましたが、具体的な内容はよく分からず、大学の社会貢献の一環かな程度の感想でした。しかし、今回、宮川繁先生の解説を読んで、OCW構想の最初の段階から現状までよく分かりました。早速、MITのOCWにアクセスしてみました。サイト内のキーワード検索で容易に探したい教材へたどり着けました。現在、社会人で博士課程にチャレンジ中ですが、たとえば、自分の論文の参考文献に引用している世界中の先生方とOCWのビデオレクチャなどでお目にかかれるようになれば素晴らしいことだと思います。(坂東幸一)

■ eラーニングの広がりや連携は、コンテンツの作成、共有などの現状がよく分かって参考になった。(匿名希望)

■ eラーニングは、個々の教員ではなく、教育機関全体で取り組む必要のある課題です。特にeラーニングの教材を作成する際に最も頭を悩ませるのは著作権の問題です。分かりやすい解説で大変参考になりました。(水野光朗)

■ 特集記事全部が大変興味深かったです。情報教育から遠ざかっている今は、情報の教育がすごい勢いで進んでいることを改めて認識いたしました。(匿名希望)

■ 「8. 学習コンテンツの国際的な共有再利用の枠組み」は、オープン化技術を利用して、北米や欧米が教育の質的改善に取り組んでいる一方で、日本が遅れている点に不安を覚えます。日本の教育レベルが向上されるように、他国と同等の教育支援体制を整えるだけでなく、他国に負けない優秀な学習コンテンツの創出方法も検討していただければと思います。(匿名希望)

■ OCW(MIT)で著作権の問題をクリアするために多くの労力(時間)を要していたことは、やはりそうだったかという印象です。図版の掲載許諾のやりとりでも海外出版社と行うのに1年弱を要した経験があり、このあたりの面倒さがいま知り知られていないのではないかと感じていました。「7. eラーニングの普及と教育のオープン化に対応する支援体制とエコシステムの確立と展開」は大変参考になりました。こうした教材作りが教育の質的改善にどう貢献しているのかという点がやはり気になります。持続可能な発展やエコシステムという観点からは米国だけでなく、情報格差のある諸国へオープン化することによる効果を意識した団体・組織による取り組み事例を知りたいと思いました。(匿名希望)

■ 口が悪いと言われるかもしれませんが、その昔、「マルチメディア」という言葉を先導に、いくつかの試みがなされた中で、現在までも継続している1つが、eラーニングでしょうか。eラーニングによる学習は、(特に昔ながらの)高校(のような形態)での授業のように、受講生が受け身的な、説明を聞いて内容を理解することには、ある程度有効だと思います。大学の授業でも、予習用に義務づけてもいいのかもしれませんが、私自身の経験から、大学というところは、有り余る時間を湯水のように使って、後で考えると無駄なことを仲間と一緒にやるところだと思うのですが。(匿名希望)

■ 職場でもeラーニングを利用しているが、長い文章が出てくるとちょっと読む気が失せてしまう。こんな人間にも飽きさせないようなeラーニングのコンテンツのさらなる向上をお願いしたい。(匿名希望)

道しるべ「計算の視点から音楽の構造を眺めてみると『音楽と言語の構造認知』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■この記事で取り上げられたのは、音楽情報学と言語学の境界領域であり、情報学の学際的分野に強い関心を持っているため、大変参考になりました。音楽（歌）における歌詞を情報学の領域からどのように分析できるのか、とりわけ歌詞が旋律においてきわめて重要な意味を持ついわゆる「電波曲」と呼称される楽曲の分析にも踏み込んだ考察もなされていれば、さらに参考になったと思います。（水野光朗）

■なんとなく分かるような気もするが、構文解析がいまいち理解できない。音楽の素養の問題だろうか。（匿名希望）

解説「3日で作る高速特定物体認識システム」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■実際に授業として行う場合は、組合せ作業に終始しないようにしたり、単なるプログラミング練習になったりしないよう、うまく理論と実践のバランスを取る指導が難しいだろうなあと感じました。（匿名希望）

解説「フラッシュメモリの最新技術動向—SSDへの応用」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■最近の市場の動きとも合って、興味深く読むことができた。

このようなIT市場連動型の企画を増やしてもらおうとよいと思います。（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■テレビで見たのですが、服飾デザイナーのスケッチをイメージ通りに型紙に起こすパタンナーという職業があるそうです。マネキンを使い、経験と勘で型紙を作図し、それを切り取りのりで貼り合わせてマネキンに着せ修正する、という作業をしていましたが本当でしょうか。このような作業は、てっきり専用のCADソフトで行っていると思いました。服飾制作の最先端が、もしも情報システムを利用しているのなら、どうなっているのか知りたいです。（匿名希望）

■10月にITU-T総会があるようなので、体制変更も含めた紹介をお願いしたい。（匿名希望）

■興味が無い分野は、読みづらいので、もっと第2、第3の特集のページ数を増やしてほしい。（田中 優）

【本欄担当 飛田高雄、大月美佳／書評・ニュース分野】



これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail:[editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax:(03)3518-8375  
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!!



## IPSJ カレンダー

| 開催日          | 名 称   | 論文等応募締切日  | 参加締切日                | 開催地                      |
|--------------|---|-----------|----------------------|--------------------------|
| <b>2008年</b> |   |           |                      |                          |
| 12月16日(火)～   | 第118回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会   | 10月24日(金) | 当日のみ                 | 九州大学 情報基盤研究<br>開発センター    |
| 12月17日(水)    | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC118.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC118.html</a>                               |           |                      |                          |
| 12月17日(水)～   | 第72回数値モデル化と問題解決・第15回バイオ情報学  | 10月22日(水) | 当日のみ                 | 大阪大学<br>豊中キャンパス          |
| 12月18日(木)    | 合同研究発表会   |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MPS72BIO15.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MPS72BIO15.html</a>                       |           |                      |                          |
| 12月18日(木)    | 北陸支部主催研究講演会<br>「NGNにおける新たなビジネス展開について」   |           | 参加無料<br>会員以外の方も参加可   | 富山県民会館<br>302会議室         |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html">http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html</a>   |           |                      |                          |
| 12月19日(金)～   | 第78回音楽情報科学研究発表会   | 10月15日(水) | 当日のみ                 | 龍谷大学<br>瀬田キャンパス          |
| 12月20日(土)    | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS78.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS78.html</a>                                 |           |                      |                          |
| 12月20日(土)    | 第97回コンピュータと教育研究発表会  | 10月31日(金) | 当日のみ                 | 金城学院大学                   |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE97.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE97.html</a>                                   |           |                      |                          |
| 12月20日(土)    | 第11回エンタテインメントコンピューティング研究発表会   | 11月12日(水) | 12月12日(金)<br>定員になり次第 | 筑波大学<br>大塚キャンパス          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EC11.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EC11.html</a>                                   |           |                      |                          |
| 12月20日(土)～   | 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2008」   | 9月9日(火)   | 定員になり次第              | 筑波大学                     |
| 12月21日(日)    | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html</a>                           |           |                      |                          |
| 12月22日(月)    | 第52回臨時総会  |           |                      | 化学会館501会議室               |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/soukai2008-rinji52.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/soukai2008-rinji52.html</a> |           |                      |                          |
| <b>2009年</b> |   |           |                      |                          |
|              | 平成20年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集   | 1月16日(金)  |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H20/h20boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H20/h20boshu.html</a>                               |           |                      |                          |
|              | 論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿  | 2月2日(月)   |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-K.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-K.html</a>                         |           |                      |                          |
|              | 東海支部学生研究発表会助成   | 2月28日(土)  |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>   |           |                      |                          |
|              | 論文誌「環境貢献・社会貢献に向き合うネットワークサービス<br>技術」特集への論文投稿   | 4月13日(月)  |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-J.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-J.html</a>                         |           |                      |                          |
|              | 論文誌「インタラクシオンの基盤技術、デザインおよび応用」<br>特集への論文投稿  | 4月20日(月)  |                      |                          |
|              | 論文誌「インタラクシオンの基盤技術、デザインおよび応用<br>(テクニカルノート)」特集への論文投稿  |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-L-10-M.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-L-10-M.html</a>               |           |                      |                          |
| 1月13日(火)～    | 第173回 計算機アーキテクチャ・第11回 組込みシステム   | 11月17日(月) | 当日のみ                 | パナソニック(株)<br>松心会館        |
| 1月14日(水)     | 合同研究発表会   |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ARC173EMB11.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ARC173EMB11.html</a>                     |           |                      |                          |
| 1月13日(火)～    | 第50回 プログラミング・シンポジウム   |           |                      | 箱根ホテル小涌園                 |
| 1月15日(木)     | <a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>   |           |                      |                          |
| 1月16日(金)     | 東海支部主催講演会「Webアプリケーションのセキュリティ」   |           | 参加無料<br>会員以外の方も参加可   | 中部大学(愛知県)                |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>   |           |                      |                          |
| 1月19日(月)～    | Asia and South Pacific Design Automation Conference   |           |                      | パシフィコ横浜                  |
| 1月22日(木)     | (ASP-DAC2009)   |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.aspdac.com/aspdac2009/">http://www.aspdac.com/aspdac2009/</a>   |           |                      |                          |
| 1月22日(木)～    | ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学   | 9月26日(金)  |                      | 東京大学武田ホール                |
| 1月23日(金)     | シンポジウム(HPCS2009)  |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html</a>                       |           |                      |                          |
| 1月22日(木)～    | 第70回グループウェアとネットワークサービス研究会   | 11月25日(火) | 当日のみ                 | 屋久島環境文化村セン<br>ター         |
| 1月23日(金)     | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GN70.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GN70.html</a>                                   |           |                      |                          |
| 1月26日(月)～    | 第72回 プログラミング研究発表会   | 11月19日(水) | 当日のみ                 | 愛知工業大学<br>本山キャンパス        |
| 1月27日(火)     | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO72.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO72.html</a>                                 |           |                      |                          |
| 1月26日(月)～    | 第131回ヒューマンコンピュータインタラクシオン研究発表会   | 11月22日(土) | 当日のみ                 | 湯布院公民館                   |
| 1月27日(火)     | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI131.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI131.html</a>                               |           |                      |                          |
| 1月27日(火)     | ソフトウェアジャパン2009<br>「ITのパラダイムシフト～クラウドで何が変わるか?～」   |           | 定員になり次第              | 大手町サンケイプラザ               |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/</a>                                 |           |                      |                          |
| 1月28日(水)～    | 第110回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム  | 12月5日(金)  | 当日のみ                 | 蒲郡情報ネットワーク<br>センター       |
| 1月29日(木)     | 研究発表会   |           |                      |                          |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/OS110.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/OS110.html</a>                                 |           |                      |                          |
| 1月29日(木)～    | 第48回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会  | 11月28日(金) | 当日のみ                 | はこだて未来大学<br>(函館市)        |
| 1月30日(金)     | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL48.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL48.html</a>                                 |           |                      |                          |
| 1月30日(金)     | 第122回 アルゴリズム研究発表会   | 12月1日(月)  | 当日のみ                 | NTT コミュニケーシ<br>ョン科学基礎研究所 |
|              | <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL122.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL122.html</a>                                 |           |                      |                          |

| 開催日                   | 名 称   | 論文等応募締切日  | 参加締切日   | 開催地                   |
|-----------------------|---|-----------|---------|-----------------------|
| 2月13日(金)              | 第43回電子化知的財産・社会基盤研究発表会<br><a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP43.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP43.html</a>                    | 12月5日(金)  | 当日のみ    | 敬和学園大学                |
| 2月16日(月)～<br>2月17日(火) | 第134回グラフィクスとCAD研究発表会<br><a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html</a>                     |           |         | NHK放送技術研究所            |
| 3月5日(木)～<br>3月6日(金)   | インタラクション2009<br><a href="http://www.interaction-ipsj.org/index.html">http://www.interaction-ipsj.org/index.html</a>   | 10月17日(金) | 早期割引有り  | 学術総合センター /<br>一橋記念講堂  |
| 3月9日(月)～<br>3月10日(火)  | ネットワーク生態学研究グループ 第5回シンポジウム<br><a href="http://www.jaist.ac.jp/%7Eyhayashi/NetEcoG_top.html">http://www.jaist.ac.jp/%7Eyhayashi/NetEcoG_top.html</a>                | 12月31日(水) | 定員になり次第 | 沖縄国際大学                |
| 3月10日(火)～<br>3月12日(木) | 第71回全国大会<br><a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html</a>                             |           |         | 立命館大学びわこ・<br>くさつキャンパス |
| 3月18日(水)～<br>3月19日(木) | 第107回 情報システムと社会環境研究会<br><a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IS107.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IS107.html</a>                     | 1月9日(金)   | 当日のみ    | 専修大学<br>神田キャンパス       |
| 3月23日(月)～<br>3月25日(水) | The 9th International Symposium on Autonomous<br>Decentralized Systems<br><a href="http://www.ece.upatras.gr/isads2009/">http://www.ece.upatras.gr/isads2009/</a> |           |         | Athens, Greece        |

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 11月19日 平成20年度「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦のお願い
- 11月14日 人材募集情報(11月)更新しました
- 11月10日 重要なお知らせ：研究報告のオンライン出版(印刷物の廃止)について
- 11月4日 「環境貢献・社会貢献に向き合うネットワークサービス技術」特集の論文募集
- 11月4日 「第50回プログラミング・シンポジウム」参加者募集
- 10月29日 平成20年フェロー候補者推薦募集：推薦締切を延長しました(締切：11月14日)
- 10月27日 本年9月より発行後2年を超える刊行物(会誌, 論文誌, 研究報告等)を国立情報学研究所のCiNiiで無料公開しています
- 10月23日 Web教材制作の公募のお知らせ



## 人材募集 (有料会告)



**申込方法**：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限**：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金**：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)  
賛助会員(企業) 31,500円(〃)  
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)  
\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

**申込先**：情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■高エネルギー加速器研究機構計算科学センター

**募集人員** 研究員 1名(単年度契約。ただし、本事業が終了する平成24年3月まで契約期間の更新を行うことがある)  
**専門分野** 問わない  
**研究・業務内容** 主として以下の項目に関する研究と開発を行う。合わせて開発環境の整備を担当する  
(A) SAGA-NAREGIアダプタの開発  
(B) SAGAおよびRNSに基づいたGridアプリケーションプログラムインタフェースの開発  
(C) gLite-NAREGI相互運用に関する研究

**応募資格** 着任時点で博士号を有することが望ましい。ソフトウェア開発に高い能力を有し、チームの一員として他のメンバーと共同で研究を行うために十分な日本語および英語によるコミュニケーション能力を有すること。経験不問

**着任時期** 採用決定後可能な限り早い時期

**提出書類** 履歴書(E-mailアドレス、着任可能時期を明記すること)、研究経歴書または業務経歴書、業績リストおよび主要な業績(3編、コピー可)、着任後の抱負(英語でA4用紙1枚程度)、推薦書2通

**応募締切** 平成20年12月23日(必着：ただし、適任者が現れた場合、早期に締め切ることもあるので、事前に問合せをすること)

**送付先** 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構計算科学センター 事務室 Tel(029)864-5473  
研究員応募と朱書 \*応募書類の返却はいたしません

**照会先** 計算科学センター 教授 佐々木節 E-mail:Takashi.Sasaki@kek.jp  
**その他** 詳細はWebページ(<http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html>)をご覧ください

#### ■金沢大学総合メディア基盤センター情報教育部門

**募集人員** 助教 1名  
**専門分野** 特に問わない  
**応募資格** 博士号取得者または修士号取得者で大学院博士課程に在籍しており近い将来に博士号を取得見込みの方

**着任時期** 平成21年4月1日

**提出書類** 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷(3編以内、コピー可)、これまでの研究概要(1000字程度)、着任後の研究計画および業務・教育への抱負(1000字程度)、これまでにICT教育の実践やコンテンツ作成に取り組んだことがあればそれに関する資料、推薦書2通もしくは照会可能者2名の連絡先

**応募締切** 平成20年12月26日(必着)

**送付先** 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 鈴木恒雄(Webページ参照)

**照会先** 総合メディア基盤センター 近藤静香 E-mail:koubo@imc.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6911(Webページ参照)

**その他** 応募の詳細はWebページ(<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/200810recruit>)をご覧ください

## ■長崎大学工学部情報システム工学科

募集人員 助教 1名  
 専門分野 パターン認識, 情報検索, 視聴覚メディア処理  
 応募資格 専門分野で優れた研究業績があり, 博士の学位を有するか平成21年3月末までに取得予定の方で, 教育研究のできる方  
 着任時期 平成21年3月1日以降, なるべく早い時期(4月1日までに着任のこと)  
 提出書類 履歴書(市販の様式, ワープロ可. 学歴は高卒以降を記入し, 職歴, 所属学・協会, 資格, 賞罰なども記入すること), 業績リスト(学術論文, 著書・総説・解説, 特許, 外部資金の獲得状況(科研費補助金, 研究助成金, 共同研究・受託研究等)), 主要論文等の別刷(5編, コピー可), 現在までの研究概要(A4用紙に2000字程度), 着任した場合の研究・教育に対する抱負(A4用紙に1000字程度), 本人について参考意見を求め得る方(3名以内)の氏名および連絡先  
 応募締切 平成21年1月9日(必着)  
 送付先/照会先 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学工学部情報システム工学科 学科主任 松永昭一  
 E-mail:mat@nagasaki-u.ac.jp Tel(095)819-2700  
 その他 応募についての詳細はWebページ(<http://www.cis.nagasaki-u.ac.jp/recruit.html>)をご参照ください

## ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報基礎領域

募集人員 助教 1名  
 専門分野 暗号理論および情報セキュリティ  
 応募資格 博士の学位(着任までに取得見込みでも可)を取得の方で, 上記専門分野の教育・研究に熱意のある方  
 着任時期 平成21年4月1日以降のなるべく早い時期  
 提出書類 履歴書, 研究歴(学術雑誌の編集委員, 国際会議のプログラム委員等学術的貢献, および産業技術上の貢献も含む), 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議等に区別), 主要論文別刷(5編, コピー可), 主たる研究概要, 今後の研究計画と教育に対する抱負(2000字程度), 推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mail)  
 応募締切 平成21年1月9日(必着)  
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 落水浩一郎  
 Tel(0761)51-1155 (研究科長秘書)  
 その他 【任期】5年(再任あり)  
 応募の詳細はWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>, <http://www.jaist.ac.jp/english/research/employment.htm>)を参照

## ■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名  
 所属 複合情報学専攻(複雑系工学講座)  
 専門分野 複雑系工学(混沌系工学)に関する専門分野:特に, 大規模かつ複雑な情報の実システム工学をより発展させるために, 次世代情報システム理論の技術開発とその応用, 情報プロセス理論の開発とその応用, 情報生態学理論の確立と実用技術への応用を中心とする専門分野を対象とする  
 担当科目 大学院・学部の情報系科目(講義・演習・実験), および全学共通科目の担当  
 応募資格 博士の学位を有する方. 教育および研究に熱意があり, この分野の世界水準の顕著な研究業績を有し, 産学官連携および地域社会貢献に積極的で, 国際的視野を持つ方  
 着任時期 平成21年4月1日以降のできるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書, 業績リスト(査読付き論文, 国際学会講演論文, 著書, 総説, 受賞歴, 特許, 教育業績, 地域社会貢献実績等), 主要論文別刷(5編, 各3部, コピー可), 現在までの研究歴と研究業績の概要(2000字), 将来の教育と研究に対する展望と抱負(1000字), 今後の大学のあり方に関する所見(1000字), 所見を伺える方2名(氏名, 所属, 連絡先)  
 応募締切 平成21年1月15日(必着(期限厳守))  
 送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学大学院情報科学研究科・事務室 総務担当 Tel(011)706-6514  
 「複雑系工学講座教員公募応募書類No.20-11」と朱書き書留 \*応募書類は原則として返却いたしません  
 照会先 複雑系工学講座 教授 古川正志 E-mail:mack@complex.eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6443  
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/>)【人事募集】をご覧ください

## ■旭川工業高等専門学校制御情報工学科

|      |  |
|------|--|
| 募集人員 | 助教 1名  |
| 専門分野 | 計測工学(ハードウェアとしてセンサ等の利用に関する分野,あるいはソフトウェアとして画像データの解析処理等の分野)   |
| 担当科目 | 計測工学,画像処理工学,センサー工学,情報処理等に関する講義,実験,卒業研究,特別研究(専攻科)   |
| 応募資格 | 博士の学位を有する方もしくは着任時までに取得見込みの方,高等専門学校での教育・研究および学生指導に熱意のある健康な方,年齢30歳以下が望ましい  |
| 着任時期 | 平成21年4月1日以降できるだけ早い時期   |
| 提出書類 | 履歴書,研究業績リスト,主要著書・論文別刷(5編以内,コピー可),研究・開発等の履歴リストおよび研究・開発の概要,教育業績リスト,高専教育に対する抱負,推薦書または応募者について照会可能な方2名以内の氏名・所属・連絡先<br>*応募に必要な様式については,本校のWebページからダウンロードしてご利用ください |
| 応募締切 | 平成21年1月30日(必着)   |
| 送付先  | 〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6 旭川工業高等専門学校総務課人事・労務係 E-mail:s_jinji@asahikawa-nct.ac.jp<br>Tel(0166)55-8105 Fax(0166)55-8082 「制御情報工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留             |
| 照会先  | 制御情報工学科長 今野 廣 E-mail:konno@asahikawa-nct.ac.jp Tel/Fax(0166)55-8029  |
| その他  | 詳細はWebページ( <a href="http://www.asahikawa-nct.ac.jp">http://www.asahikawa-nct.ac.jp</a> )を参照してください  |

## ■阿南工業高等専門学校制御情報工学科

|      |   |
|------|---|
| 募集人員 | 助教 1名   |
| 専門分野 | 情報工学または通信工学   |
| 担当授業 | 本科および専攻科において,各専門分野に関連する科目.コンピュータシステム,ネットワーク技術,組み込みマイコン,プログラミングなどの基礎(実習,実験,卒研を含む)  |
| 応募資格 | 博士の学位を有する方,または,採用時までに取得見込みの方.工業高等専門学校の教育・研究に熱意のある方で,担任業務,学生指導,寮生指導,課外活動等に情熱を持って取り組める方   |
| 応募締切 | 平成21年1月30日(必着)  |
| その他  | 応募詳細はWebページ( <a href="http://www.anan-nct.ac.jp/osirase/kyouinkoubo/">http://www.anan-nct.ac.jp/osirase/kyouinkoubo/</a> )を参照ください |

## ■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科知識メディア領域

|      |   |
|------|---|
| 募集人員 | 助教 1名(任期付き)   |
| 専門分野 | 教育工学,オントロジー工学,e-ラーニングに関する教育研究分野   |
| 応募資格 | 博士の学位を有し,上記分野について日本語および英語で十分に教育・研究指導が行えることが望ましい   |
| 着任時期 | 平成21年4月1日以降のできる限り早い時期   |
| 提出書類 | 履歴書,業績リスト(研究論文を,査読付き原著論文,査読付き国際会議報告,著書,その他(特許等)に分けて,最近のものから過去にさかのぼって列記してください.また,受賞など選考の参考になる事項についてもまとめてください),これまでの研究および実務経験の概要(A4用紙2枚以内),主要論文別刷(5編以内,コピー可),科学研究費補助金等の外部資金獲得状況,今後の研究計画(A4用紙2枚以内),教育に対する抱負(A4用紙2枚以内),推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mail),E-mailアドレスを含む応募者本人の連絡先【書類はA4用紙で作成】 |
| 応募締切 | 平成21年1月30日(当日消印可)   |
| 送付先  | 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 國藤 進<br>「知識メディア領域助教応募」と朱書  |
| 照会先  | 共通事務室知識科学研究科担当 E-mail:ks-dean@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1152 Fax(0761)51-1149   |
| その他  | 本学に関する情報についてはWebページ( <a href="http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html">http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html</a> )をご覧ください   |

## ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科人工知能領域

|      |  |
|------|--|
| 募集人員 | 准教授 1名(任期付き)   |
| 専門分野 | 人工知能・知識工学・認知科学の理論および応用にかかわる分野.すなわち,知識や信念の表現,論理推論・論理プログラミングなど情報の論理的取り扱いに関する分野,ならびにプランニング,機械学習,マルチエージェントシステムの最適戦略・平衡解探索に関する分野        |
| 応募資格 | 博士の学位を有し,上記分野の研究および教育に熱意を有する方.「人工知能特論」を含む本研究科講義科目担当可能な方  |
| 着任時期 | 平成21年6月1日以降なるべく早い時期  |
| 提出書類 | 履歴書,研究業績リスト(論文誌掲載の論文,国際会議録,研究会・全国大会,著書,解説・その他,に分けて記載),主要論文別刷(5編,コピー可),教育研究の抱負(2000字程度),推薦書2通または応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先(E-mailアドレス) |
| 応募締切 | 平成21年2月28日(必着)   |
| 送付先  | 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科長 落水浩一郎<br>「教員応募書類在中(人工知能准教授)」と朱書き書留   |
| 照会先  | 情報科学研究科 教授 東条 敏 E-mail:tojo@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1201   |
| その他  | 本学に関する情報についてはWebページ( <a href="http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html">http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html</a> )をご覧ください              |



## ■東北大学電気通信研究所

|       |  |
|-------|--|
| 募集人員  | 教授 1名  |
| 所 属   | システム・ソフトウェア研究部門コミュニケーションネットワーク研究分野   |
| 専門分野  | 本研究分野では、次世代ネットワークの実現を目指して、通信ソフトウェア、アーキテクチャ、ならびに知的コミュニケーションの高度化を推し進めることにより、人間とシステムとの連携に基づく新たなコミュニケーション環境を創出するための研究と教育を行う  |
| 応募資格  | 博士の学位を有すること  |
| 着任時期  | 平成22年4月1日以降のできるだけ早い時期  |
| 提出書類  | 履歴書、これまでの研究概要 (A4用紙2枚以内、研究項目ごとに説明)、研究業績リスト (学術論文、参考論文 (国際会議論文など)、解説・記事、著書、特許、受賞、代表者としての研究費獲得状況、学会および社会における活動状況、その他の特記事項に分類)、主要論文別刷 (5編、コピー可、およびそれぞれの論文の簡単なまとめ)、着任後の研究計画と教育への抱負 (各々 A4用紙2枚以内)、本人の能力・人柄を評価できる2名の氏名・所属・職名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス |
| 応募締切  | 平成21年3月10日 (消印有効)  |
| 送 付 先 | 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学電気通信研究所総務課庶務係 「コミュニケーションネットワーク研究分野公募書類在中」と朱書き書留   |
| そ の 他 | 詳細はWebページ ( <a href="http://www.riec.tohoku.ac.jp/~www/koubo/index.shtml">http://www.riec.tohoku.ac.jp/~www/koubo/index.shtml</a> ) に掲載の公募案内をご覧ください  |

## ■豊田工業大学工学部先端工学基礎学科

|       |   |
|-------|---|
| 募集人員  | 教授 1名   |
| 所 属   | 情報数理分野研究室   |
| 専門分野  | 理論情報科学を含む情報科学基礎全般、あるいはプログラミング言語や計算機アーキテクチャ、ネットワークコンピューティングを含む計算機システム全般  |
| 応募資格  | 理工系の博士の学位を有する方、詳しくは下記の本学Webページを参照ください   |
| 着任時期  | 平成21年9月あるいはできるだけ早い時期  |
| 提出書類  | 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷 (5編程度、コピー可)、これまでの研究の要約と着任後の研究・教育についての抱負 (2000字程度)、推薦者2名の氏名・所属・連絡先  |
| 応募締切  | 平成21年3月14日 (当日消印有効)   |
| 送 付 先 | 〒468-8511 愛知県名古屋市中区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 平戸 隆 Tel(052)809-1750 Fax(052)809-1734<br>「情報数理分野研究室教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *公募書類は原則として返却いたしません |
| 照 会 先 | 情報数理分野教員選考委員会委員長 教授 三田誠一 E-mail: <a href="mailto:smita2@toyota-ti.ac.jp">smita2@toyota-ti.ac.jp</a> Tel(052)809-1820            |
| そ の 他 | 本学Webページ ( <a href="http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html">http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html</a> )              |

## ■東北大学電気通信研究所

|       |  |
|-------|--|
| 募集人員  | 教授 1名  |
| 所 属   | システム・ソフトウェア研究部門情報コンテンツ研究分野   |
| 研究分野  | 広域分散環境上で生成・蓄積され、ネットワークを介して流通するコンテンツ (データ/情報/知識) を対象としたコンテンツ指向情報処理システムに関する研究を行い、次世代情報通信基盤を確立することを目的とする。具体的研究領域としては、大規模コンテンツの創造・蓄積・流通方式、マルチメディアコンテンツの認識・理解、コンテンツ指向情報処理のシステムアーキテクチャ、コンテンツ流通のための知的ネットワーク環境、コンテンツ指向情報通信アプリケーションなどが挙げられる                 |
| 応募資格  | 博士の学位を有すること  |
| 着任時期  | 平成22年4月1日以降のできるだけ早い時期  |
| 提出書類  | 履歴書、これまでの研究概要 (A4用紙2枚以内、研究項目ごとに説明)、研究業績リスト (学術論文、参考論文 (国際会議論文など)、解説・記事、著書、特許、受賞、代表者としての研究費獲得状況、学会および社会における活動状況、その他の特記事項に分類)、主要論文別刷 (5編、コピー可、およびそれぞれの論文の簡単なまとめ)、着任後の研究計画と教育への抱負 (各々 A4用紙2枚以内)、本人の能力・人柄を評価できる2名の氏名・所属・職名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス |
| 応募締切  | 平成21年3月31日 (消印有効)  |
| 送 付 先 | 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学電気通信研究所庶務係 「情報コンテンツ研究分野公募書類在中」と朱書   |
| そ の 他 | 詳細はWebページ ( <a href="http://www.riec.tohoku.ac.jp/~www/koubo/index.shtml">http://www.riec.tohoku.ac.jp/~www/koubo/index.shtml</a> ) に掲載の公募案内をご覧ください  |

## ■東北大学電気通信研究所

募集人員 教授 1名  
所 属 ブレインウェア実験施設実世界コンピューティング研究部  
専門分野 生体の認識・理解情報処理過程の解明と、それに基づく高次情報処理システムや、知能ロボット等の実世界適応制御システムの開発などに関連する分野(詳細: <http://www.riec.tohoku.ac.jp/>)  
応募資格 博士の学位を有すること  
着任時期 平成22年4月1日以降でできる限り早い時期  
提出書類 履歴書, これまでの研究歴およびその概要(文中で研究業績リストの番号を引用してください), 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文, 解説記事, 著書, 特許, 受賞, 学会・社会における活動状況, 代表あるいは分担者としての研究費獲得状況, その他の特記事項, に分類して作成すること), 主要原著論文別刷(5編, コピー可, およびそれらの概要), 教育実績, 着任後の研究計画と教育への抱負(各々 A4用紙2枚以内), 応募者の能力や人柄を評価できる方2名の氏名・所属・職名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス \*書類はA4用紙に横書き, 項目ごとに別葉とする  
応募締切 平成21年3月31日(消印有効)  
送付先/照会先 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学電気通信研究所総務課庶務係  
E-mail:shomu@jm.riec.tohoku.ac.jp Tel(022)217-5420  
[実世界コンピューティング研究部公募書類在中]と朱書き書留 \*応募書類は原則として返却いたしません



# ソフトウェアジャパン 2009 開催のご案内

## 『ITのパラダイムシフト -クラウドで何が変わるか?-』

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/>

開催日時：平成 21 年 1 月 27 日(火) 9:30-17:40 [※受付開始 9:00~]

開催会場：大手町サンケイプラザ (地下鉄大手町 A4・E1 出口直結)

主催：情報処理学会

協賛：社団法人 情報サービス産業協会, 社団法人 日本情報システムユーザ協会, 社団法人 電子技術産業協会,  
XML コンソーシアム, 社団法人 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会

後援：文部科学省, 総務省, 経済産業省

情報処理学会では IT プロフェッショナル(実務家)のためのシンポジウムとして、2004 年度から毎年度「ソフトウェアジャパン」を開催し、多数の企業・大学等からのご支援を頂いております。

本年度は、「IT のパラダイムシフト -クラウドで何が変わるか?-」と題しまして、様々なハードウェア、データ、処理などネットワークの向こう側に移動した環境を意味する「クラウド」に焦点をあて、最近の動向や、企業における取り組み、クラウドによって何が変わるのか、などについて考えてまいりたいと思います。

また、本シンポジウムでは今回のテーマ以外にも前回のソフトウェアジャパンと同様に「IT フォーラムセッション」や日本発の世界に誇るジャパンソフトウェアの研究者、開発者、技術者による講演「ザ・ジャパンソフトウェアセッション」も予定しております。

このような趣旨のもと、IT 関連業界において現場で活躍されている産業界の方々を中心に、学界・官公庁関係の方々、次世代を担う若手の技術者・研究者の方々等、多くの方々とともに問題意識を共有し議論、交流を深められる場として、また IT 産業の今後を皆様と考える機会といたしまして「ソフトウェアジャパン 2009」を開催したいと思っております。

皆様、是非とも奮ってご参加ください。

■参加費 : 一般(会員・非会員共):5,000 円 / 一般 IT フォーラム登録者(会員・非会員共):無料  
学生(会員・非会員共):無料

■参加申込 : 標記のソフトウェアジャパン 2009 Web ページから申込み下さい。

■参加申込〆切り : 平成 21 年 1 月 19 日(月)17:00

■問合せ先 : 情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp  
詳細は Web ページをご覧ください。

### ■全体セッション [4F ホール] プログラム (9:30~17:40)

|   |
|---|
| <b>9:30- 9:35 Opening/ITフォーラムの紹介</b>  |
| <b>9:35-12:30 第1セッション:キーノート セッション</b>   |
| 9:35-10:25 招待講演(1):「クラウド・コンピューティング時代の到来」<br>城田 真琴((株)野村総合研究所 情報技術本部技術調査部 主任研究員)   |
| 10:40-11:30 招待講演(2):「企業 IT システムにおけるクラウドコンピューティング」<br>丸山 宏(日本アイ・ビー・エム(株)執行役員 東京基礎研究所 所長)   |
| 11:40-12:30 招待講演(3):「Cloud Computing と Data Service」<br>丸山 不二夫(早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 客員教授)   |
| <b>12:30-13:30 お昼休み</b>   |
| <b>13:30-15:30 第2セッション:パネルセッション「クラウドで何が変わるか?」</b>   |
| 司 会:佐々木 俊尚(IT ジャーナリスト)<br>パネリスト:城田真琴((株)野村総合研究所 情報技術本部技術調査部 主任研究員)<br>竹洞 陽一郎(アカマイ(株)ロフセッションナル・サービス部 テクニカル・プロジェクト・マネージャー)<br>丸山 宏(日本アイ・ビー・エム(株)執行役員 東京基礎研究所 所長)<br>丸山不二夫(早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 客員教授)<br>松山 憲和(PFUソフトウェア(株)第三ソフトウェア開発部 プロジェクト部長) |
| <b>15:40-17:35 第3セッション:ザ・ジャパンソフトウェア セッション</b>   |
| 15:40-16:35 招待講演(1):「モバイルタウン開発秘話」<br>川崎 修平((株)ディー・エヌ・エー 取締役)  |
| 16:40-17:35 招待講演(2):「はてなの挑戦」<br>近藤 淳也((株)はてな 代表取締役)/伊藤 直也((株)はてな 執行役員 CTO)  |
| <b>17:35-17:40 Closing</b>  |

■ ITフォーラムセッション プログラム (午前) (10:30-12:30)

| イノベティブ社会基盤 フォーラム 「異業種におけるイノベーション」 <span style="float: right;">[会場 3F 301]</span>   |  |
|--|--|
| <p><b>【セッション概要】</b>イノベーションはしばしば新結合と訳される。IT 技術自体の進歩もさることながら、最新の IT 技術を異業種で活かしてこそ、新しい産業や生態系が生まれるのではないかと。イノベティブ社会基盤フォーラムではこのような問題意識に基づき、医療、農業など様々な分野で起きている IT 技術を活用したイノベーションに注目し、新たな可能性について検討する。単に IT を使った自動化・業務効率化の枠を超えて、IT を使ってこそ可能となるイノベティブな製品やサービスを生み出すために何が必要か、実際の具体例を基に会場とネットの同時進行で議論を深めたい。</p>   |  |
| 10:30-11:00  | <p>講演 1 「IT × 農業」<br/>                     神成 淳司(慶應義塾大学環境情報学部 専任講師)</p>  |
| 11:00-11:20  | <p>講演 2「IT × 医療」<br/>                     許斐 俊充(日本ナショナルインスツルメンツ(株)プロダクト事業部 事業部長(兼マーケティング部長))<br/>                     大林 康二(北里大学 大学院 医療系研究科-応用物理学) *ビデオ出演</p>  |
| 11:20-12:30  | <p>パネル討論「Live! IT x ○○」<br/>                     司 会:許斐 俊充(日本ナショナルインスツルメンツ(株)プロダクト事業部 事業部長(兼マーケティング部長))<br/>                     パネリスト:小野 雄太郎<br/>                     小野 和俊((株)アプレックス 代表取締役副社長 CTO)<br/>                     楠 正憲(マイクロソフト(株) 技術統括室 CTO 補佐)<br/>                     斎藤 健二(アイティメディア(株)ビジネス・メディア事業部長)<br/>                     神成 淳司(慶應義塾大学環境情報学部 専任講師)<br/>                     中嶋 謙吾(コミュニティーエンジン(株)代表取締役 CEO)</p> |
| 福祉情報システム フォーラム 「次世代要約筆記ツールの創造 ～ツールの連携から開発の連携へ～」 <span style="float: right;">[会場 3F 303]</span>   |  |
| <p><b>【セッション概要】</b>要約筆記ソフト IPTalk 開発者の栗田氏の呼びかけにより、IPTalk 連携ソフトの開発者を中心として、次世代の要約筆記ソフトの開発のために人々が結集しつつある。このセッションでは、ツールの連携から開発の連携へと発展しつつある情報保障ソフトの現状と将来について、会場の参加者を交えて展望したい。IPTalk Broadcaster は、要約筆記ソフトウェア IPTalk の字幕を、PSP(PlayStation Portable) で受信し表示できるようにする画期的な IPTalk 連携ソフトウェアである。我々情報技術者が真っ先に利用する PC でも PDA でもなく、なんと PSP という手頃さが受け、急速に浸透しつつある。開発者の森氏から、着想から完成に至るまでの経過を交えてご紹介いただく。一方で、学会や講演会の手頃な情報保障を目的として昨年大風呂敷を広げた Capptioner は、情報処理学会発のツールとしてプロトタイプが一般公開できる段階になった。会場では、スライドノートをもとにした字幕を自在に編集し、IPTalk で入力した即興発言を交えて表示する実演を行う。栗田氏からは、IPTalk の最近の動向についてご講演いただくとともに、日本遠隔コミュニケーション支援協会の設立や FSG (Free Software Group) の構想についてもご紹介いただく予定である。</p> |  |
| 10:30-11:00  | <p>講演 1 「パソコン要約筆記ソフト IPTalk の今後の展開 ～日本遠隔コミュニケーション支援協会設立の経緯と FSG(Free Software Group)の構想～」<br/>                     栗田 茂明 (NPO 法人 日本遠隔コミュニケーション支援協会 理事長)</p>  |
| 11:00-11:30  | <p>講演 2 「PSP 字幕から垣間見る 情報保障の姿と今後」<br/>                     森 直之(要約筆記サークル「さくらんぼ」(IPTalk Broadcaster 作者))</p>   |
| 11:30-12:00  | <p>講演 3 「手頃な講演字幕化ツール Capptioner の公開と IPTalk との今後の連携」<br/>                     萩川 友宏 (静岡大学 情報学部 教員)</p>   |
| 12:00-12:30  | <p>パネル討論:「次世代の要約筆記ソフトに求められるもの」<br/>                     司 会:坂根 裕(デジタルセンセーション(株) 代表取締役)<br/>                     パネリスト:栗田 茂明 (NPO 法人 日本遠隔コミュニケーション支援協会 理事長)<br/>                     白澤 麻弓(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授)<br/>                     森 直之(要約筆記サークル「さくらんぼ」(IPTalk Broadcaster 作者))<br/>                     萩川 友宏 (静岡大学 情報学部 教員)</p>  |
| ITダイバーシティ フォーラム 「ダイバーシティを促進するメンタリング活動」 <span style="float: right;">[会場 3F 311]</span>  |  |
| IEEE Japan Council Women in Engineering Affinity Group 共催  |  |
| <p><b>【セッション概要】</b>少子高齢化、ワーキングスタイルの多様化、グローバル化など、企業を取り巻く環境は日々ダイナミックに変化しており、ダイバーシティ推進は極めて重要な組織変革のテーマとなっている。ダイバーシティ推進の施策の一つとして「メンタリング活動」がある。メンタリング活動とは、メンターと呼ばれる助言者が社員(メンティー)のキャリアに関するアドバイスをを行い、社員自らが能力を発揮し、キャリアデザインを描けるよう支援を行うフレームワークである。このフレームワークを整備し、企業の壁を超えたメンターネットワークの構築、事例の蓄積などを行っていくことが、企業の持続的な価値創出に大きく寄与すると考える。本セッションでは、企業のメンタリング活動推進者によるメンタリングの意義、推進にあたっての課題などの講演をいただくとともに、メンタリング活動の識者からダイバーシティを踏まえたキャリア開発と、それを実現するメンタリング活動の具体的なキープポイントなどを紹介いただく。</p>  |  |
| 10:30-11:00  | <p>講演 1「企業におけるメンタリングの意義」<br/>                     清見 純子(リコーリース(株) 常務執行役員, 人財エンパワーメント推進本部長兼カスタマーリレーション本部長)</p>  |
| 11:00-12:00  | <p>講演 2「個人のキャリアに合わせたメンタリングのポイント」<br/>                     藤井 佐和子((株)ソシオテック研究所 コンサルタント)</p>   |
| 12:00-12:30  | <p>講演 3「IT 企業における女性技術者へのメンタリング活動例」<br/>                     菅原 香代子(日本アイ・ビー・エム(株)ソフトウェア事業 技術理事)</p>   |



## ■ ITフォーラムセッション プログラム (午後) (13:30-15:30)

| ユーザスタディ フォーラム「ビジネス・エスノグラフィの実践」   |  | [会場 3F 301] |
|--|--|-------------|
| <p><b>【セッション概要】</b> 昨年の本フォーラム主催セッションとして高い評価を得た、創造的な仮説構築手法である「ビジネス・エスノグラフィ」について、本年は、同手法が企業の創造の現場で活用されている模様を、国内でいち早く実践を進める企業のエキスパートから報告してもらう。矢島氏の講演では、エスノグラフィの手法をビジネスに適用している中、特に、インタビューの手法の一つとして体系化し、独自のビジネスプロセスに定着させた経緯、並びに適用のケースを紹介する。井上氏の講演では、花王が博報堂、インフィールド・デザインと共同で実施した、「エイジング市場における新機会発見プロジェクト」のプロセスと成果についてご紹介いただく。</p> <p>本セッションを通じ、ビジネス・エスノグラフィが、企業のビジネスプロセスにおいて、いかに活用され得るかを知っていただく、よい機会としたい。そのためにも、参加者との積極的な対話を通じて、ビジネス・エスノグラフィに対する期待や疑問を明らかにし、本手法の将来に向けた方向性を共に模索することも目指す。</p>                            |  |             |
| 13:30-14:30  | 講演 1「IT 業界におけるビジネスエスノグラフィーの取組み ～インタビューを中心とした“聞く”ことから“知る”～」<br>矢島 彩子(富士通(株)アシュアランス本部 ソーシャルサイエンスセンター 研究員)  |             |
| 14:30-15:30  | 講演 2「ビジネスエスノグラフィによる生活者研究の実践」<br>井上 紀子(花王(株)生活者研究センター ビューティケア研究室 研究員)   |             |
| サービスサイエンス「顧客接点をイノベーションするサービスサイエンス」   |  | [会場 3F 303] |
| <p><b>【セッション概要】</b> スカンジナビア航空のヤン・カールソンが提唱した「真実の瞬間」という言葉がある。ヤン・カールソンは、お客様と直接接する最前線の従業員の最初の 15 秒の接客態度が、その航空会社の印象を決めると考えサービス改革を断行した。素晴らしいと評価されるサービスは、お客様との接点を大切にしている。この当たり前といえる顧客接点の重要性を科学的に分析し、サービススタッフが納得して素晴らしいサービスを提供していく論理を議論していきたい。</p>   |  |             |
| 13:30-14:10  | 講演 1「実例からみた顧客満足に対する顧客接点の重要性」<br>小柳津 誠(伊藤忠アーバンコミュニティ(株)CIO兼CRM推進部長)   |             |
| 14:10-14:30  | 講演 2「My サービスサイエンスの進捗報告」<br>諏訪 良武(ワクコンサルティング(株)常務執行役員)  |             |
| 14:30-15:30  | パネル討論「顧客満足における顧客接点の重要性」<br>司 会: 門倉 純一(CRM 協議会 専務理事)<br>パネリスト: 小柳津 誠(伊藤忠アーバンコミュニティ(株)), 菊池 隆(東京工業大学 経営工学系 21 世紀 COE 特任教授)<br>諏訪 良武(ワクコンサルティング(株)), 竹林 一(オムロンソフトウェア(株)代表取締役社長) |             |
| 高度IT人材育成フォーラム「高度 IT 人材のための資格制度構築に向けて」  |  | [会場 3F 311] |
| <p><b>【セッション概要】</b> 情報処理学会 IT プロフェッショナル委員会は、IPA 人材育成本部の協力を得て高度 IT 人材資格検討 WG を立ち上げ、IT スキル標準等のレベル 5~7 に対応する高度 IT 人材を認定するための制度の可能性について検討を行っている。検討の中では、IFIP 等が進めている IT プロフェッショナル資格制度に関する国際的枠組みも考慮されている。一方、経済産業省と文部科学省は、協力して産学人材育成パートナーシップ情報処理分科会で高度 IT 人材育成に向けた検討を進めており、IT スキル標準のレベル 1~4 は情報処理技術者試験を改正して、試験をレベル判定の尺度として用いることができるようになってきている。そのため、両制度を統合的に運用することで、さまざまなレベルの IT 人材を包括的に認定する仕組みが構築できることになる。本セッションでは、高度 IT 人材資格制度に関する検討結果を報告し、その実現に向けた課題や、高度な能力や実績を持つ IT 人材が適正に処遇され、それを通じて IT 業界を活性化するための方策について議論を行う。</p> |  |             |
| 13:30-13:35  | 趣旨説明 掛下 哲郎(高度 IT 人材育成フォーラム代表/ 佐賀大学 理工学部 知能情報システム学科 准教授)  |             |
| 13:35-13:55  | 講演 1「IT 人材育成強化・加速プログラムについて」<br>奥家 敏和(経済産業省 商務情報政策局情報政策ユニット情報処理振興課 課長補佐)  |             |
| 13:55-14:15  | 講演 2「高度 IT 資格制度に関する IPA の取り組みと国際動向」<br>松田 晃一(独立行政法人 情報処理推進機構 IT 人材育成本部 本部長)  |             |
| 14:15-14:35  | 講演 3「高度 IT 人材資格制度の検討結果について」<br>旭 寛治(情報処理学会 高度 IT 人材資格検討 WG 座長/(株) 日立テクニカルコミュニケーションズ 代表取締役社長)   |             |
| 14:25-15:15  | パネル討論<br>司 会: 掛下 哲郎(高度 IT 人材育成フォーラム代表)<br>パネリスト: 旭 寛治(情報処理学会 高度 IT 人材資格検討 WG), 上原 智(NTT データ 人事部 人材開発担当 課長)<br>奥家 敏和(経済産業省), 松田 晃一(独立情報処理推進機構),                               |             |
| Web2.0 フォーラム「Web 2.0 の将来: 可能性と課題」  |  | [会場 3F 312] |
| <p><b>【セッション概要】</b> かつては単なるバズワードとしてしか見られていなかった Web 2.0 の概念は IT 産業そして社会に大きな影響を起している。Web 2.0 はどのようなポジティブな変化をもたらしたのだろうか? また、どのような課題をもたらしたのだろうか? 本セッションでは、Web 2.0 のポジティブな面とネガティブな面について議論を行なうと共に、Web 2.0 の先にあるものいわば Web 3.0 の姿についての予測を試みる。</p>  |  |             |
| 13:30-13:50  | 講演 1「準備中」<br>栗原 潔((株)テックバイザージェイビー 代表取締役・弁理士/金沢工業大学 客員教授)   |             |
| 13:50-14:10  | 講演 2「大企業における WEB2.0 の活用状況」<br>小林 啓倫((株)日立コンサルティング シニアコンサルタント)  |             |
| 14:10-14:30  | 講演 3「Web2.0 とソーシャルメディア(仮題)」<br>吉川 日出行(みずほ情報総研(株)コンサルティング部 シニアマネージャー)   |             |
| 14:30-15:30  | パネル討論<br>司 会: 栗原 潔((株)テックバイザージェイビー )<br>パネリスト: 小林 啓倫((株)日立コンサルティング), 吉川 日出行(みずほ情報総研(株))  |             |

# 第71回全国大会 聴講参加・講演論文集予約の御案内

## ー ITが創る豊かさー

大会会期：平成21年3月10日（火）～ 12日（木）

大会会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東 1-1-1）

第71回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集」ならびに「懇親会参加」の予約受付をいたします。

本大会では、以下のイベント企画も開催する予定でおります。皆様どうぞお問い合わせのうえお申込ください。

**予約申込受付期間：平成20年12月15日～平成21年2月13日（〆切 19：00）**

**招待講演企画**：招待講演 4件を予定しております。

|         |   |
|---------|---|
| 招待講演(1) | 10日(火)13:00-14:15 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>「ヒトとマシンの協働を支える4次元都市時空間情報インフラ」<br>柴崎 亮介（東京大学 空間情報科学研究センター センター長）  |
| 招待講演(2) | 11日(水)13:50-14:30 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>「Software Standards - Providing Support for Today's Software Crisis」<br>Susan Kathy Land（IEEE-CS 会長）                               |
| 招待講演(3) | 11日(水)14:35-15:15 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>「The Seoul Accord : Toward Mutual Recognition of Accredited Computing Programs for Computing Professions」<br>Sung Jo Kim（KIISE 会長） |
| 招待講演(4) | 12日(木)13:00-14:15 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>「時代の求める技術開発」<br>三輪 真（パナソニック（株）東京R&Dセンター 所長）  |

**イベント企画**：各イベント企画では第一線で活躍されておられる講師をお招きし講演、パネル討論等の開催を予定しております。

|            |  |
|------------|--|
| 特別セッション(1) | <b>最先端 IT 技術による防災・減災の現在と未来</b><br>10日(火)9:30-12:00 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>9:30-10:00 講演(1)「緊急地震速報の仕組みと限界 ～有効活用するために～」 松森敏幸(気象庁)<br>10:00-10:30 講演(2)「危機発生時に初動の鍵を握る災害情報配信サービス」 市川啓一(レスキューナウ)<br>10:30-11:00 講演(3)「効果的な防災活動を支援する災害情報マネジメントのあり方」 目黒公郎(東大)<br>11:00-11:30 講演(4)「ユビキタス技術による災害時情報収集・被害推定技術」 滝澤修(情報通信研究機構)<br>11:30-12:00 講演(5)「レスキューロボットシステム研究開発最前線」 松野文俊(電通大)   |
| 特別セッション(2) | <b>コンピュータ将棋は止まらない ー人間トップに勝つコンピュータ将棋ー</b><br>10日(火)14:30-17:20 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>14:30-15:00 講演「コンピュータ将棋のXディに向けて」 松原仁(はこだて未来大)<br>15:10-16:00 公開対局解説「激指 VS 稲葉聡(立命館大学将棋研究会)」 *別室にて 13:00 から対局開始<br>解説: 中川大輔(日本将棋連盟プロ七段) 聞き手: 伊藤毅志(電通大)<br>16:20-17:20 パネル討論「コンピュータ将棋の現状と課題」   |
| 特別セッション(3) | <b>この1曲が私の研究テーマを決めた</b><br>11日(水)9:30-12:00 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>9:30-9:45 講演(1)「J. S. Bach: インヴェンションとシンフォニア(二声と三声のインヴェンション) -- Glenn Gould (pf.)」 東条敏 (JAIST)<br>9:45-10:00 講演(2)「John McLaughlin, Al Di Meola, Paco De Lucia: Fantasia Suite (1980)」 浜中雅俊(筑波大)<br>10:00-10:15 講演(3)「F. J. Haydn: 交響曲第94 番 長調「驚愕」」 平賀譲(筑波大)<br>10:15-10:30 講演(4)「マイルス・デイビス・クインテット: Nefertiti (1967)」 平田圭二 (NTT)<br>10:30-10:45 講演(5)「Claudio Monteverdi: Missa a 4 voci de cappella から Crucifixus」 嵯峨山茂樹(東大)<br>10:45-11:00 講演(6)「さだまさし: 関白宣言」 村尾忠廣(愛知教育大)<br>11:00-12:00 パネル討論「音楽の情報処理は学として自立しうるか」 |
| 特別セッション(4) | <b>加速度センサとその応用技術・事例</b> [*電子情報通信学会 ISS UBIC 研究会協賛]<br>11日(水)15:30-17:30 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>15:30-15:50 講演(1)「加速度センサを用いた移動状態推定と運動強度の推定」 川原圭博(東大)<br>15:50-16:10 講演(2)「加速度センサを利用した新しいインタラクションサービス」 中島達夫(早大)<br>16:10-16:30 講演(3)「慣性航法によるパーソナルポジショニング手法」 興梠正克(産総研)<br>16:30-16:50 講演(4)「6軸電子コンパスの小型化技術を補完するオフセット調整ミドルウェア」 山下昌哉(旭化成エレクトロニクス)<br>16:50-17:10 講演(5)「スポーツ携帯実現のための加速度応用とサービスモデル」 荒井克己(KDDI)<br>17:10-17:30 講演(6)「ゲーム(まいにちいっしょ)で使う加速度センサ、失敗例と成功例」 南治一徳(BeXide)  |
| 特別セッション(5) | <b>擬人化エージェントとの音声対話を実現する基盤ソフトウェア</b><br>12日(木)9:30-12:00 第1イベント会場[プリズムハウス 1Fプリズムホール]<br>9:30-10:00 基調講演「マルチモーダル対話技術の課題」 新田 恒雄(豊橋技科大)<br>10:00-10:20 講演(1)「音声対話のための音声認識ソフトウェア」 李 晃伸(名古屋工大)<br>10:20-10:40 講演(2)「音声対話のための音声合成ソフトウェア」 山下 洋一(立命館大)<br>10:40-11:00 講演(3)「音声対話のための顔画像合成ソフトウェア」 四倉 達夫(ATR 音声言語コミュニケーション研)<br>11:00-11:20 講演(4)「音声対話のための対話制御ソフトウェア」 西本 卓也(東大)<br>11:20-11:40 講演(5)「音声対話のための MMI 記述言語標準化」 桂田 浩一(豊橋技科大)<br>11:40-12:00 全体討論   |

|                |  |
|----------------|--|
| 特別<br>セッション(6) | <b>未来の生活を変える AIPS ロボティクス ～Artificial Intelligent Partner System～</b><br><b>～未来の生活を変えるメカエレクトロニクスの融合技術～</b><br>12日(木)14:30-16:30 第1イベント会場[プリズムハウス 1F プリズムホール]<br>14:30-14:40 イントロダクション<br>14:40-15:20 基調講演「コンピュータ・エンタテインメント+AIPSの可能性」 久多良木健(ソニー・コンピュータエンタテインメント)<br>15:20-16:20 パネル討論「未来の生活を変える AIPS ロボティクス」<br>16:20-16:30 サマリー |
| 特別<br>セッション(7) | <b>ロボカップ春季競技会</b><br>11日(水)10:00-17:00 1次リーグ [会場調整中]<br>12日(木)10:00-12:00 決勝リーグ / 13:00-14:30 決勝・順位決定戦 / 14:30- 表彰式 [会場調整中]  |
| シンポジウム<br>(1)  | <b>学会の新たなベクトルに向けて：</b><br><b>情報セキュリティ心理学とトラスト研究グループの立ち上げと期待される今後の活動</b><br>10日(火)9:30-12:00 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>9:30-12:00 パネル討論「情報セキュリティ心理学とトラストに関する研究分野に期待されること」<br>司 会:村山優子(岩手県大)<br>パネリスト:内田勝也(情報セキュリティ大学院大), 田中健次(電通大), 松浦幹太(東大), 西垣正勝(静岡大)   |
| シンポジウム<br>(2)  | <b>私の詩と真実</b><br>10日(火)14:30-17:00 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>14:30-14:40 開会挨拶と企画趣旨 和田 英一(IJ技研)<br>14:40-15:45 講演(1)「コンセプト創造の勧め」 森 健一(東京理科大)<br>15:45-16:50 講演(2)「少年への難問と知能情報メディア」 池田 克夫(京大)<br>16:50-17:00 総括と閉会挨拶 和田 英一(IJ技研)   |
| シンポジウム<br>(3)  | <b>2008年度以降の一般情報教育のあり方を問う</b><br>11日(水)9:30-12:00 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>9:30-9:50 講演(1)「一般情報(処理)教育委員会の活動報告」 河村一樹(東京国際大)<br>9:55-10:15 講演(2)「一般情報教育の知識体系(GEBOK)に関する調査報告」 駒谷昇一(筑波大), 大即洋子(清和大)<br>10:20-12:00 パネル討論「これからの一般情報教育のあり方」   |
| シンポジウム<br>(4)  | <b>情報を副専攻とする理工系学科の知識項目</b><br>11日(水)15:30-17:30 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>15:30-15:50 講演(1)「情報副専攻の目的と概要」 玉井哲雄(東大)<br>15:50-16:10 講演(2)「技術開発系情報副専攻」 苗村健(東大)<br>16:10-16:30 講演(3)「経営管理系情報副専攻」 西村和夫(駒沢大)<br>16:30-16:50 講演(4)「J07の各領域との関係」 佐渡一広(群馬大)<br>16:50-17:30 パネル討論「情報を副専攻とする理工系学科に要求される知識項目」                         |
| シンポジウム<br>(5)  | <b>ソウルアコード -情報専門学部教育認定の国際相互承認-</b><br>12日(木)9:30-12:00 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>プログラム準備中  |
| シンポジウム<br>(6)  | <b>IT 専門職大学院を対象とした認証評価モデル</b><br>12日(木)14:30-16:00 第2イベント会場[コーニングハウス I 1F C101]<br>14:30-14:40 趣旨説明「プロジェクトの概要報告」 筧 捷彦(早大)<br>14:40-15:00 講演(1)「IT 専門職大学院について」 大原茂之(東海大)<br>15:00-15:20 講演(2)「IT 専門職大学院を対象とした認証評価の基準と評価プロセス」 大岩元(帝京平成大)<br>15:20-15:40 講演(3)「IT 専門職大学院を対象とした認証評価の組織とビジネスモデル」 掛下哲郎(佐賀大)<br>15:40-16:30 パネル討論     |

■聴講参加費・講演論文集代(税込)

| 申込種別                  | 予約価格(2/13迄)   | 定 価     |
|-----------------------|---------------|---------|
| 大会聴講参加費(正会員)          | 3,000円        | 3,000円  |
| 大会聴講参加費(正会員)*CD-ROM付き | 8,000円        | 8,000円  |
| 大会聴講参加費(一般非会員)        | 6,000円        | 6,000円  |
| 懇親会参加費一般(正会員・一般非会員)   | 4,000円        | 5,000円  |
| 懇親会参加費学生(学生会員・学生非会員)  | 2,000円        | 3,000円  |
| 講演論文集分冊               | 7,000円        | 9,000円  |
| 講演論文集セット *CD-ROM枚付き   | 35,000円       | 43,000円 |
| 講演論文集CD-ROM           | 7,000円        | 7,000円  |
| 送料                    | セットおよびセット冊数以下 | 800円    |
|                       | セット冊数以上       | 1,000円  |
|                       | CD-ROM 1枚につき  | 500円    |

■問合せ先

〒101-0062東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F  
 社団法人情報処理学会 事業部門  
 電話(03)3518-8373, FAX(03)3518-8375  
 e-mail: jigyos@ipsj.or.jp

■留意事項

※学生の大会聴講参加費は無料です。  
 ※講演論文集、CD-ROM共に事前発送は致していません。  
 受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。  
 ※講演論文集またはCD-ROMを郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。  
 ※懇親会:日時(予定):2009年3月11日(水)18:00～  
 会場(予定):リンクスクエア 1F 食堂

■聴講参加および講演論文集のお申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

**第71回全国大会公式Webサイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/>**



## おひらき

第23回 ISO/IEC JTC 1 総会が奈良で開催された。会場は、奈良県新公会堂。あの、鹿のいる奈良公園の中である。日本での開催は、1987年に東京で開催された第1回総会、1998年に仙台で開催された第12回に続いて3回目、10年ぶりの開催である。最近の参加者数は約80名であるのに、今回はそれを大きく上回り約120名の盛況ぶりとなった。過去最大のJTC 1総会である。日本開催の場合、欧米開催の場合より参加者数が少ないというのが定説であったのに、予想外のこととなった。JTC 1のPメンバ（投票権のある参加国）の数が最近急増して国際標準化への関心の高まりが感じられるものの、今回の会議への参加国数は、18カ国と例年どおりなのに、1カ国あたりの参加人数が多いということは、やはり、東大寺・興福寺などの日本が誇る世界遺産の数々が参加者をひきつけたのだろうか。事務局からは、林マネージャと国際幹事を担当する小倉、長澤、木村が出席を兼ねて会議支援をした。規格部にとっては、10年に一度の最大イベントなので、すべて抜かりなく、と言いたいところであるが、会期前半までの手配がすべて後手後手に回り多くの反省点が残った。日本代表団にも余計な面倒をおかけしてしまった。10年前にもかかわった数少ない一人としては後悔しきりである。マネージャ職を引き継いで間もない林マネージャには、レセプションの司会という大役が急に回ってきて、開始30秒前まで手書き原稿にさらに鉛筆で手を入れて頑張った。そしてその他数々の不手際への批判の矢面にも立つことと

なった。気の毒なことである。しかしながら、決議文に記されたホストへの謝辞の1つとして、毎日内容を変えて出した幕の内弁当のことが入った。近くに食事をする場所が少ないので、事務局内では反対意見もあった中、林マネージャが英断したものである。参加者は、公会堂の前の紅葉し始めた日本庭園を眺めながら和気藹藹と食事をしていた。弁当の他にも、飲み水、コーヒー、レセプションでの出し物、お土産と精一杯気を配り、なんとかホスト国としての責任は果たせたと思うが、JTC 1傘下のSCの幹事国を5つも担当する日本としてのプレゼンスを発揮することに自分が貢献できたかというところちょっと疑問で、今後の課題である。

(木村敏子/規格部門)



写真は、レセプション会場。今回の会議で退任したJTC 1議長 Scott Jameson 氏を囲んで JTC 1 Secretary の Lisa Rajchel 女史、石崎会長、事務局4名を撮影したもの。

### ■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

| 担当         | E-mail                     | Tel (ダイヤルイン) | 取り扱い内容   |
|------------|----------------------------|--------------|--|
| ■ 会員サービス部門 |                            |              |  |
| 会員         | mem@ipsj.or.jp             | 03-3518-8370 | 入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金   |
| ■ 会誌編集部門   |                            |              |  |
| 会誌編集       | editj@ipsj.or.jp           | 03-3518-8371 | 会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権   |
| ■ 研究部門     |                            |              |  |
| 論文誌        | editt@ipsj.or.jp           | 03-3518-8372 | 論文誌 (ジャーナル) の編集・査読   |
| 調査研究/教育    | sig@ipsj.or.jp             |              | 研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)   |
| ■ 事業部門     |                            |              |  |
| 事業/国際      | jigyo@ipsj.or.jp           | 03-3518-8373 | 全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会   |
| ■ 管理部門     |                            |              |  |
| 総務         | somu@ipsj.or.jp            | 03-3518-8374 | 理事会、支部、役員選挙、名誉会員   |
| 経理         | keiri@ipsj.or.jp           |              | 出納、送金連絡  |
| システム企画     | sys@ipsj.or.jp             |              | システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース   |
| 図書         | tosho@ipsj.or.jp           |              | 出版物購入  |
| ■ 情報規格調査会  |                            |              |  |
| 規格部        | standards@itscj.ipsj.or.jp |              | 標準化フォーラム<br>〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3<br>Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a> |



## ご意見をお寄せください！

【1月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4912.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. (            )            -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ ..... 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9-
10. 今月号 (2008年12月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]

### 特集：マルチコアを活かすお手軽並列プログラミング

1. マルチコア計算機と基本的な並列化技法 ..... 10-1-
2. GCC 上での並列プログラミングサポート ..... 10-2-
3. Java における並列プログラミングサポート ..... 10-3-
4. 並列計算パターン (スケルトン) による並列プログラミング ..... 10-4-
5. dRuby と Rinda ..... 10-5-

### さあ、マルチコアプロセッサの時代です！ ..... 10-6-

### 小特集：ソーシャルブックマークは進化し続ける！

1. ソーシャルメディアとマーケティング ..... 10-7-
2. SBM データを用いた Web コンテンツ推薦 ..... 10-8-
3. コモンズ・マーカーの開発動機と経緯 ..... 10-9-
4. お前のモノ (ブックマーク) は俺のモノ、俺のモノ (ブックマーク) も俺のモノ ..... 10-10-
5. 私がチャレンジした SBM データマイニング ..... 10-11-
6. みずほ情報総研における社内ソーシャルブックマークの導入事例 ..... 10-12-
7. SBM 研究会を終えて ..... 10-13-

### Computer History Museum 訪問記 ..... 10-14-

### ASP・SaaS の動向と普及促進の状況 (後編) ..... 10-15-

### 高速 UWB (Ultra Wideband) 通信の最新動向 ..... 10-16-

### わが支部の魅力はここにあり：東海支部：産学の人的交流促進 ..... 10-17-

### 新世代 BIOS “UEFI” の構造と実装 ..... 10-18-

11. 特に興味を持ってお読みにになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

デスクトップ向けのマルチコア CPU がリリースされて3年半が経ち、販売されている PC はほぼマルチコア計算機となりました。マルチコア CPU が広く利用できるにはなりましたが、まだうまく利用できていないという声もときどき聞かれます。

この1、2年で実用的なマルチコア向けのライブラリや処理系がいくつも開発され、マルチコア計算機環境とプログラミングライブラリの両方が容易に利用可能となりました。そのような今こそ、一番良いタイミングであろうと考え、本特集を企画しました。プログラミングという内容で、どのように読者に興味を持ってもらうのか、

本号の小特集としてお届けした「ソーシャルブックマークは進化し続ける！ ～ソーシャルブックマーク研究会の議論から」は、タイトルにもあるように、今年7月に東工大にて開催された第1回ソーシャルブックマーク（以下、SBM）研究会の講師陣に執筆をお願いしたものである。このイベントは参加登録を mixi 上で行ったり、研究会中も twitter で参加者同士（ときには講師すらも交えて）の意見交換や議論がリアルタイムに繰り広げられたりするなど、さまざまな意味で新世代の研究会のあり方を考えさせられるものであった。参加者が100名を超えるという第1回の盛況を受けて、すでに第2回 SBM 研究会が企画されており、2008年12月6日にIJJ 本社にて開催される予定である。本号が読者諸氏のお手もとに届くのは、残念ながら研究会終了後になると思うが、WWW 上を「SBM 研究会」で検索すれば、Blog のエントリや各種 SBM のコメントなどから、その内容や感想を容易に発見できることだろう。本小特集と併せて、ぜひそちらもチェックしていただければと思う。

このように SBM 研究会が想定外の盛り上がりを見せる一方で、我が国における SBM の利用率としては、本小特集の記事中で、全イン

ターネットユーザのわずか7%という実にさびしい数字が挙げられている。連日のようにインターネット経由での個人情報流出が社会問題として報じられるなか、手持ちの情報を共有することによって個人の情報収集力を加速する、といった無邪気なビジョンはすでにその信用を失い、懐疑的な見方がまん延しつつある。しかしながら、この小特集で行われた多角的な議論の中には、このような懐疑的な見方を打破し、SBM を情報共有と情報収集の新たなプラットフォームたらしめる数々のヒントが眠っているものとエディタは無邪気にも信じている。この小特集を目にしたことがきっかけとなって、これまでソーシャルブックマークに興味を持たれなかった方も、ご自分のアカウントを作成されて、その濃い世界に触れていただければ、エディタとしては望外の喜びである。

最後に、各解説記事の著者の皆様、企画および閲読にあたり多大な協力をいただいた編集委員の皆様、原稿提出が本当に締切りぎりぎりとなってしまい迷惑をおかけした後路様に、この場をかりてお礼を申し上げます。

（松崎公紀／本特集エディタ）

ターネットユーザのわずか7%という実にさびしい数字が挙げられている。連日のようにインターネット経由での個人情報流出が社会問題として報じられるなか、手持ちの情報を共有することによって個人の情報収集力を加速する、といった無邪気なビジョンはすでにその信用を失い、懐疑的な見方がまん延しつつある。しかしながら、この小特集で行われた多角的な議論の中には、このような懐疑的な見方を打破し、SBM を情報共有と情報収集の新たなプラットフォームたらしめる数々のヒントが眠っているものとエディタは無邪気にも信じている。この小特集を目にしたことがきっかけとなって、これまでソーシャルブックマークに興味を持たれなかった方も、ご自分のアカウントを作成されて、その濃い世界に触れていただければ、エディタとしては望外の喜びである。

末筆になりましたが、ご多忙にもかかわらず執筆をご快諾いただいた本小特集の執筆者の方々、学会誌事務局の担当者様、そして第1回 SBM 研究会事務局の西谷様と運営を支えたボランティア学生の皆様、心よりの御礼を申し上げます。

（宮田高道／本小特集エディタ）

### 次号（1月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」視覚情報の処理と利用

総論：眼における視覚情報処理／眼の情報処理（仮）／昆虫による色情報の生成と利用／脳の視覚情報処理／錯視現象とその情報処理モデル

#### 解説

Web 2.0 アプリケーションにおける代表的な攻撃手法とその対策 ..... 吉濱佐知子 他  
 多様なメディアを用いたユビキタス ITS の実現に向けて ..... 野原光夫  
 センサネットワークの新たな展開を目指して—Live E! Workshop in APNG Camp 活動報告— ..... 落合 秀也 他

#### 報告

国際情報オリンピックエジプト大会参加報告 ..... 谷 聖一  
 プロ棋士対コンピュータ：FIT2008 における囲碁対局報告 ..... 村松正和

#### 委員会から

IFIP 近況報告 ..... 齊藤忠夫 他

コラム わが支部の魅力はここにあり

#### 複写される方へ

本会では下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先：(中法)学術著作権協会  
 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル  
 E-mail : info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619  
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
 Copyright Clearance Center, Inc.  
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
 Phone : 1-978-750-8400 Fax : 1-978-646-8600

#### Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

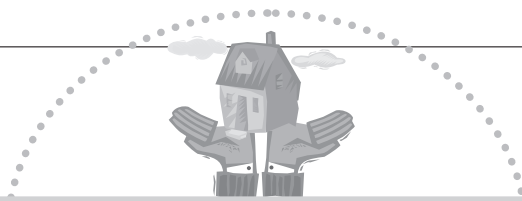
<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)  
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
 E-mail : info@jaacc.jp  
 Phone : 81-3-3475-5618 Fax : 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.  
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
 Phone : 1-978-750-8400 Fax : 1-978-646-8600





## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ  
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア  
(株) NTT コムウェア

**OKI**

沖電気工業 (株)



(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

**SONY**

ソニー (株)

コトバキウチュウ

(株) ニューズウォッチ

**Panasonic**

ideas for life  
パナソニック (株)

**楽天**

楽天 (株)

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375